

令和 8 年1月 7 日
NPO 法人日本皮革技術協会

令和 7 年度環境対応革開発実用化事業報告会

(第 68 回研究発表会)のお知らせ

謹啓

初春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

NPO 法人日本皮革技術協会では、経済産業省の補助を受け、環境対応革開発実用化事業を行っております。その成果は毎年報告書をお送りしていますが、本報告会では、得られた成果の発表及び参加者の方々との意見交換を行う場を設けたく、下記のとおり成果報告会を開催することとなりました。

また、特別講演として、兵庫県立工業技術センター皮革工業技術支援センター 松本誠氏に、「第 38 回国際皮革技術者化学者協会連合会(IULTCS)会議参加報告」について、そして有限会社シナジープランニングの坂口昌章氏に「革靴業界のトレンドと商品開発のヒント・コラムニストと商品開発者の視点」についてお話ししていただくこととなりました。

当日は Web での参加も可能です。何かとご多忙中、誠に恐縮ですがご臨席賜れば幸いです。

謹白

記

開催期日:令和 8 年 1 月 30 日(金)

時 間:受付開始	9:40
開会	10:15
第 1 部	10:20~11:05
第 2 部	11:10~11:40
第 3 部	13:00~14:00
特別講演 1 IULTCS 参加報告	14:10~14:40
特別講演 2 革靴業界のトレンドと商品開発のヒント	14:50~16:20

開催場所:AP 市ヶ谷 D ルーム
〒102-0076 東京都千代田区五番町 1-10
市ヶ谷大郷ビル 5F、D ルーム
電話:03-3511-3109

費 用 : 無料

※同封の参加申込書にご記入の上、令和 8 年 1 月 28 日(水)までに、メール又は FAX にてお送りください。

令和 7 年度環境対応革開発実用化事業報告会
(第 68 回研究発表会)プログラム

開会 10:15

理事長挨拶

口頭発表(発表 12 分、質疑応答 3 分)

第 1 部 10:20~11:05 座長 村井大輔

1. 加水分解ケラチンによる豚ウェットブルーの改質 その 1 豚毛由来加水分解ケラチンの基礎的性質

○窪田浩一、高瀬和弥(東京都立皮革技術センター)

2. フタル酸エステル類の測定法改訂に伴う結果への影響と市場調査

○熊木まり、太田優子、大形公紀(一般財団法人日本皮革研究所)

3. 革廃棄物再利用による仕上げ膜剥離強度の向上

○大形公紀、加賀川良子(一般財団法人 日本皮革研究所)

第 2 部 11:10~11:40 座長 大形公紀

4. キハダの葉によるニホンジカ革染色とキハダの葉の抗菌成分の検討

○山崎陽平(奈良県産業振興総合センター)

5. クジラ原皮の鞣しに関する検討(第二報)

○宮本昌幸、宮崎 崇(和歌山県工業技術センター)、鍛冶雅信(NPO 法人日本皮革技術協会)

第 3 部 13:00~14:00 座長 原田 修

6. 液中での天然ゴムの浸透による革の物性向上技術の開発

○泉 了介、松本 誠、鷲家洋彦(兵庫県立工業技術センター皮革工業技術支援センター)

7. コラーゲン製品のにおい評価

○鷲家洋彦(兵庫県立工業技術センター皮革工業技術支援センター)

8. 画像解析による革の獣種判別の可能性について

○村井大輔(株式会社消費科学研究所)

9. 一般靴の耐滑性評価

○黒田良彦、松澤咲佳(東京都立皮革技術センター台東支所)

特別講演 1 14:10～14:40

テーマ「第 38 回国際皮革技術者化学者協会連合会(IULTCS)会議参加報告」

講師 兵庫県立工業技術センター皮革工業技術支援センター 松本 誠氏

【内容】

世界の皮革関連研究者、技術者等が所属する組織である国際皮革技術者化学者協会連合会(International Union of Leather Technologists and Chemists Societies:IULTCS)が開催する第 38 回 IULTCS Congress が、2025 年 9 月 8 日から 11 日までフランスのリヨン市で開催された。発表内容は、トレーサビリティから準備工程、クロム鞣し及び非クロム鞣し、非金属代替鞣剤、再鞣、ポスト鞣し、仕上げ及びその特性、革新から持続可能性へ、持続可能性 1、持続可能性 2 の順番で各セッションで頭発表が行われた。本講演ではその概要を紹介する。

特別講演 2 14:50～16:20

テーマ「革靴業界のトレンドと商品開発のヒント・コラムニストと商品開発者の視点」

講師 有限会社シナジープランニング 坂口昌章 氏

【内容】

◆2025-2026 年に特に刺さるテーマ(コラムニストの視点)

2026 年、革靴は“静かな贅沢”へ回帰する

タンニン鞣し vs クロム鞣し 2025 年の本当の勝者は？

日本の職人たちが密かに目指している“次なる John Lobb”

スニーカーブーム終焉後、20 代はどんな革靴を買っているのか

パティーマの民主化 5 万円以下で“自分だけの色”を手に入れる方法

ブーツはもう古い？ 2026 年春夏の“ローファー戦争”徹底予習

革靴と香水 男が嗅がせたい“革の香り”ランキング

奥さんの本音 “夫の革靴、何足まで許せる？”全国 300 人アンケート

ヨーロッパ老舗メゾンが実は怖がっている“アジアの新興ブランド”

一生モノを買う前に読む“失敗しないサイズ選び”完全マニュアル

◆商品開発のヒント(商品開発者の視点)

日本人の足と西欧人の足は形状が異なる(もっとラストの訴求を、3D プリンタ)

日本はデザイン重視、欧米は素材重視(和紙のビーガン素材)

革靴は高価な一生もの、安い革靴は合皮製と競合(タンニン鞣し、ジビエレザー)

日本は手描きの伝統、和のパティーマの可能性(漫画やゲームとのコラボ)

世界のトレンドは、オーガニックとサステナブル(リアルよりフェイクが新しい？)

カジュアルからエレガンスへの転換で、革靴再発見(薄いソール、高いヒール)

スニーカーからローファーへ(スニーカーのようなローファー、ローファーのようなスニーカー)

アジアの新興ビスポークに注目(高品質低価格、革新的デザイン、サステナビリティ)

米国は一人 12 足、日本は 3 足で十分？(手入れと保管サブスクの可能性)

香りで革を訴求する(香りという新しい要素を付加する)

参加申込書

Fax:079-284-5899

Mail:nihonhikakugijyutsukyoukai@ybb.ne.jp

※申込締切:令和 8 年 1 月 22 日(木)

氏 名 _____

所 属 _____

連絡先 住所 _____

電話 _____

Mail _____

Web での参加の方には、メールで改めて連絡いたします。

会議の URL を1月 26 日以降にお送りしますので、メールアドレス
を必ずご記入ください。

環境対応革開発実用化事業報告会(第 68 回研究発表会)に

参加します(会場での参加、Web での参加) (該当箇所 to ○)